

石岡市内小中学校の  
適正配置・統合再編の時期について

【答申】

令和6年8月9日

石岡市小中学校統合計画審議会

## はじめに

全国的な少子化傾向が顕著になってから久しく、本市においても、小学校では複式学級が組み込まれ、中学校では単学級の学年が発生するなど、明らかに学校の小規模化が進んでいる状況にある。

石岡市教育委員会においては、発達段階にある子ども達にとって、社会性を育み、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨する場所として学校には一定の集団規模の確保が望ましいという考えから、多様な学習活動や集団活動の展開を図るため、適正規模・適正配置の基本的な考え方を示し、統合再編の枠組みを設けた石岡市立小中学校統合再編計画を令和元年6月に策定し、計画に沿って令和6年4月には、高浜小学校・三村小学校・関川小学校を南小学校へ統合するとともに、北小学校を府中小学校へ統合したところである。

そのような状況のなか、石岡市立小中学校統合再編計画の策定から5年が経過し、小学校の状況や将来の推計に変化が生じていることから令和5年9月に石岡市教育委員会から次の事項において諮問を受けた。

(1) 市内小学校の適正配置について

(2) 統合再編の時期について

本審議会は、この諮問を受け、八郷地区小学校における適正配置や統合の時期について審議し、検討を重ね、本答申をまとめた。

本答申が、今後の石岡市の教育行政に反映され、次世代を担う子ども達のより良い教育環境の充実に寄与することを強く期待する。

## 1. 市内小学校の適正配置について

### 八郷地区小学校の統合の枠組み

瓦会小学校・林小学校・恋瀬小学校・葦穂小学校・吉生小学校・柿岡小学校・小幡小学校・小桜小学校の8つの小学校においては、現在の石岡市立小中学校統合再編計画(以下、「現計画」という。)の統合方針を改め、8つの小学校を1回で統合し、八郷中学校との小中一貫校としての設置を目指す。

#### 本枠組みとした理由

- (1) 現計画における段階的な統合を進めても小学校で12学級以上とする適正規模に至らないため、1回での統合が望ましいこと。
- (2) 8校統合により、令和13(2031)年度で16学級、令和32(2050)年度でも12学級を維持できる見込みであり、長期間適正規模の基本的な考え方に合致した学校となること。
- (3) 令和13(2031)年度の8校統合時の児童数予測は、461人であり、現在の大規模校と同水準であることから、学校経営ノウハウが確保できること。
- (4) 八郷中学校地区の児童生徒が多様に関わりながら、9年間のねらいや系統性を共有する連続した学びによって、教育の質的向上が期待できる小中一貫教育が可能となること。

### 予定する学校の場所

八郷中学校の隣接地

#### 場所の理由

- (1) 八郷中学校との小中一貫教育を行うために隣接地が望ましいこと。
- (2) 八郷中学校の隣接地は、柿岡小学校以外の7校がある地区から見てほぼ中央である。よって、登校に伴う児童負担が平準化され、通学バスの所要時間が最長でも30分程度となること。
- (3) 八郷中学校の通学バスとルートが重なり、小学生と中学生の混乗を検討することで効率的に通学バスを運行することができる可能性があること。

## 2. 統合再編の時期について

### 統合再編の時期

令和 13(2031)年4月の統合を目指す。

#### 時期の理由等

- (1) 8校の老朽化が進んでおり、今後数年で長寿命化等の改修工事をしない場合、施設維持が困難となり、各校それぞれで改修工事等を実施することは本市財政への負担が大きいこと。
- (2) 用地の取得をはじめ、設計や工事スケジュールを考慮した場合、相応の年月を要する見込みであること。
- (3) 複式学級の解消のため、早期の統合再編に向けて保護者や地域住民等との調整が進んだ場合は、柿岡小学校への再編を検討する。

### 3. 統合において配慮すべき事項

#### (1) 保護者や地域住民との合意形成と跡地利活用

- ・統合校及びそれに関連する学校の保護者や地域住民に対して十分な説明を行い、理解と協力を得ながら地域の機運醸成を図り進めること。
- ・閉校する学校跡地の活用について、施設の状況や地域の意見を十分考慮しながら、有効活用が図れるよう閉校前から検討を進めること。ただし、石岡市公共施設等総合管理計画における、施設総量の削減目標を踏まえ、新たな財政支出または維持経費の増加を伴わないようにすること。さらに、一定期間が経過しても具体的な有効活用手法が決定しない場合は、施設の解体を行うこと。

#### (2) 通学等の支援

- ・児童の通学手段として、登下校用のバス等を運行させる場合は、運行ルートの効率化を図りつつ、バス等の費用について可能な限り負担軽減に努めること。
- ・学区の広域化による児童への負担を十分に考慮し、安全・安心な通学のため通学路の交通安全の確保に取り組むこと。

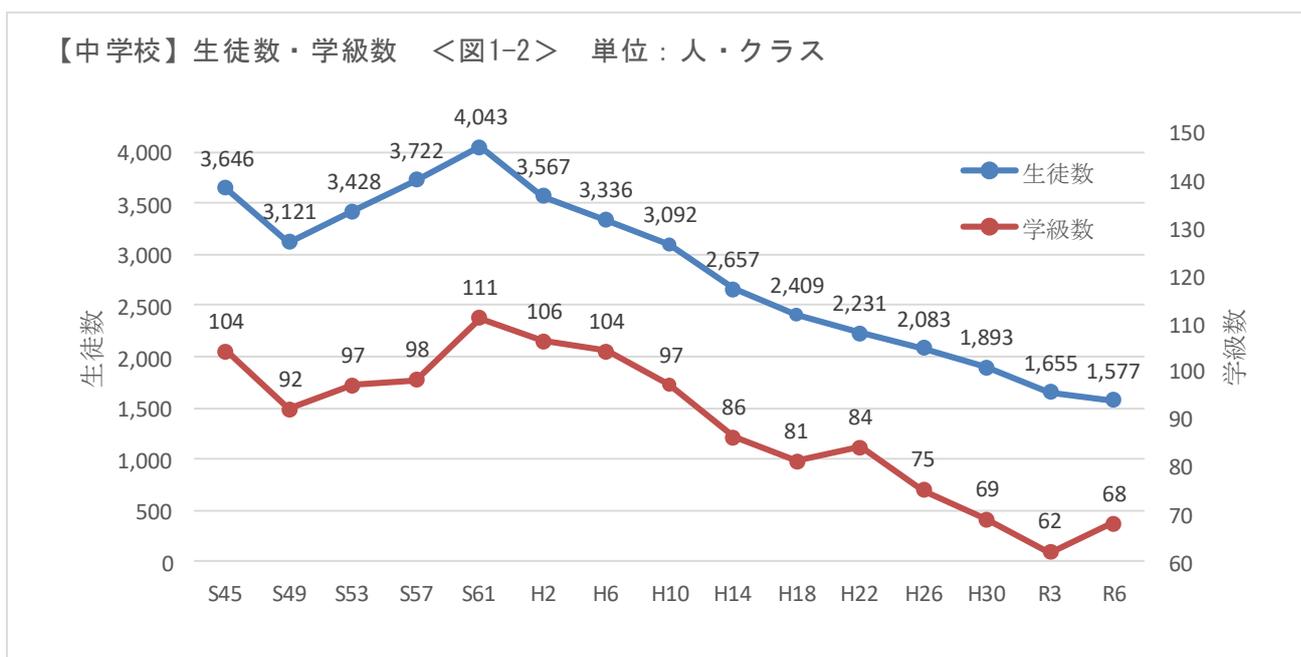
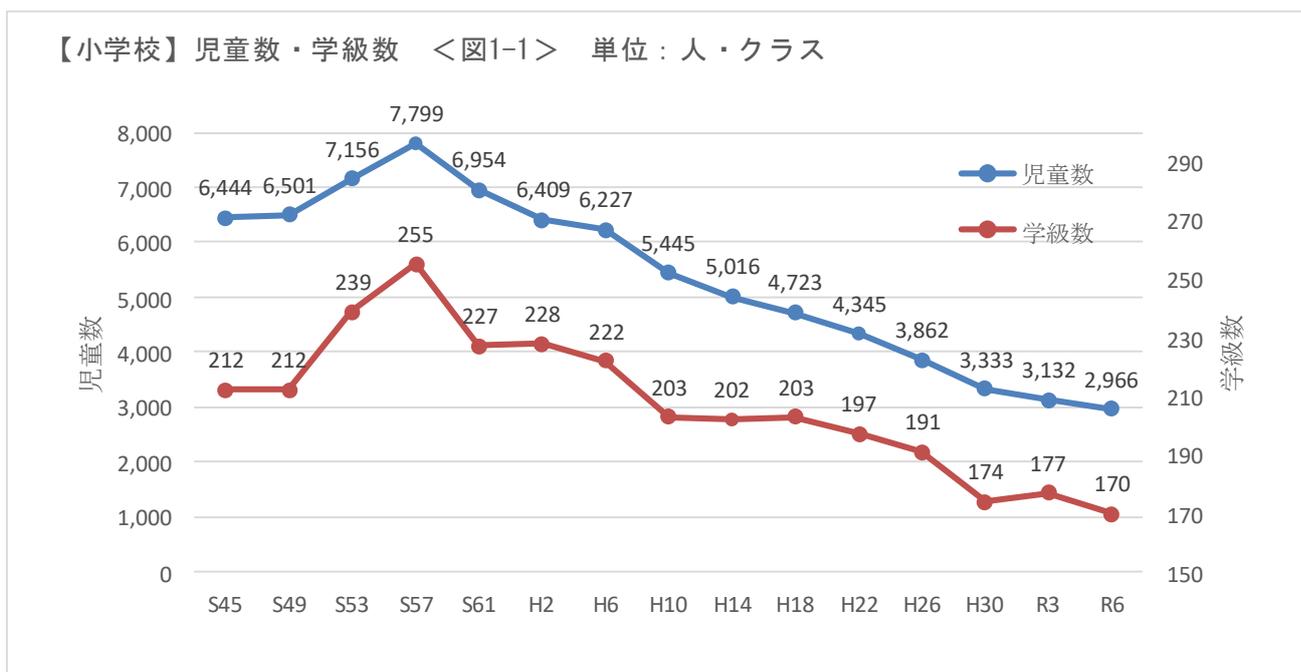
#### (3) その他

- ・子ども達にとってスムーズな統合再編とするため、統合前においては子ども達の交流を図り、統合後においては不安や悩みを取り除く心のケアに取り組むなど、より良い学校生活を迎えられるよう必要な事業を計画し、実施に努めること。
- ・本市独自の創意ある学校教育を推進し、家庭、学校、地域が連携しながら、児童がいきいきと学べる環境を整えることで児童の生きる力を継続的に育むこと。

## 4. 参考

### (1) 児童生徒数の推移

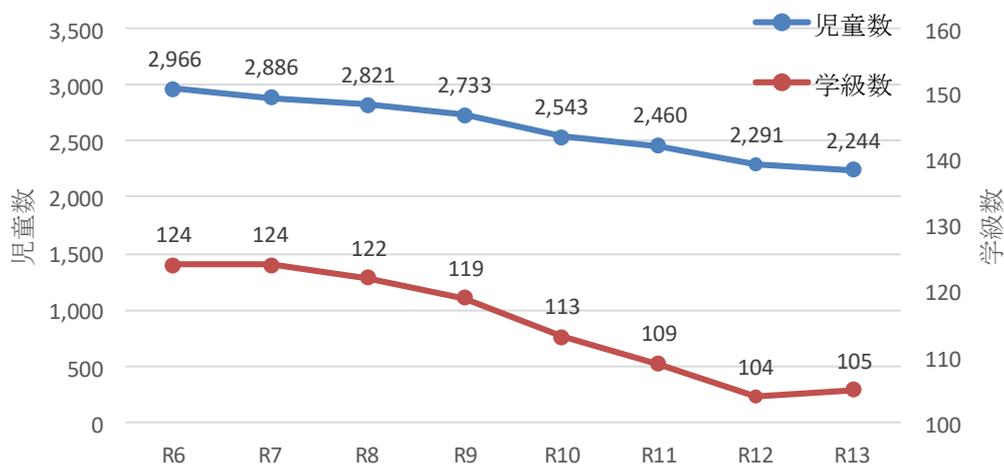
石岡市の児童生徒数の推移を見ると、全国的な少子高齢化の傾向が強く反映され、小学校の児童数は昭和 57 年、中学校の生徒数は昭和 61 年にそれぞれピークを迎えたが、令和6年度には小学生が 2,966 人、中学生が 1,577 人と児童生徒数ともピーク時の約4割に減少している。



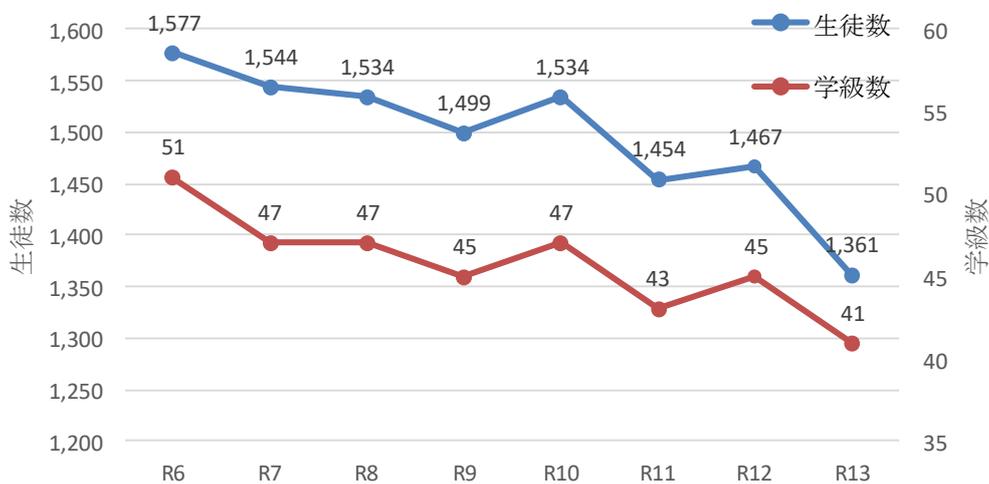
## (2) 児童生徒数の将来推計

市内小中学校児童生徒数等の推計は以下のとおりで、減少傾向は今後も続く予測される。

【小学校】児童数・学級数の予測 <図2-1> 単位：人・クラス



【中学校】生徒数・学級数の予測 <図2-2> 単位：人・クラス



- ※児童生徒数は特別支援学級の人数を含み、学級数は特別支援学級数を含まない。
- ※小学校は1学級35人、複式学級は2学年で16人以下で試算。中学校は1学級40人で試算。
- ※令和7年度以降の児童数推計は、出生児の情報を基に試算。
- ※令和7年度以降の生徒数推計は、小学校の児童数を基に試算。

### (3) 八郷中学校地区の小学校の将来推計

八郷中学校地区の小学校の児童数等の推計は以下のとおりである。減少傾向は今後も続く  
と予測されるが、8校全体の児童数としては長期間にわたって一定規模の確保ができることが見  
込まれる。

8校それぞれの現状と将来推計

対象校	校舎建 築年	平成31年度（2019年）		令和6年度（2024年）		短期推計		長期推計	
		児童数	学級数	児童数	学級数	令和13年度（2031年）		令和32年度（2050年）	
						児童数	学級数	児童数	学級数
瓦会小学校	S54年 (1979年)	65	5	63	6	43	4	27	3
林小学校	S56年 (1981年)	133	6	104	6	74	6	47	4
恋瀬小学校	S61年 (1986年)	72	6	85	6	48	4	38	3
葦穂小学校	H5年 (1993年)	65	6	54	6	44	3	23	3
吉生小学校	S53年 (1978年)	37	4	38	4	36	4	14	3
柿岡小学校	S48年 (1973年)	162	6	179	6	112	6	82	6
小幡小学校	S59年 (1984年)	102	6	94	6	55	4	41	4
小桜小学校	H6年 (1994年)	96	6	102	6	49	4	47	4
合計		732	45	719	46	461	35	319	30

8校を1校に統合した場合の現状と将来推計

令和6年度（2024年）			令和13年度（2031年）			令和32年度（2050年）		
学年	児童数	学級数	学年	児童数	学級数	学年	児童数	学級数
1年	101	3	1年	91	3	1年	44	2
2年	116	4	2年	55	2	2年	51	2
3年	130	4	3年	72	3	3年	57	2
4年	124	4	4年	66	2	4年	56	2
5年	134	4	5年	87	3	5年	61	2
6年	114	4	6年	90	3	6年	50	2
合計	719	23	合計	461	16	合計	319	12

- ※児童数は特別支援学級の人数を含み、学級数は特別支援学級数を含まない。
- ※小学校は1学級35人、複式学級は2学年で16人以下で試算。
- ※令和13年度の児童数推計は、出生児の情報を基に試算。
- ※令和32年度以降の児童数推計は、本市の長期推計を基に試算。

#### (4) 石岡市における小中一貫校による適正配置の考え方

小中一貫教育は、小中学校の教員が、子ども達の成長過程をイメージし、共有しながら、教育内容や学習活動の量的・質的充実に対応して9年間を通じた教育課程を編成し系統的な教育を実施できる学校制度である。

小小連携、小中連携の取組みや近隣学校の施設規模、地域性等を考慮し、多様化する学校教育への対応をしていくため、小学校で12学級、中学校で9学級以上とする適正規模の基本的な考え方を踏まえつつ、小中一貫校の適正配置を進める必要がある。

#### 【石岡市教育大綱】基本目標

ふるさとに学び 夢にはばたく 輝くひとづくりのまち

#### 【石岡市学校教育グランドデザイン】学校教育が目指す児童生徒の姿

##### 協働

- ・課題を発見、設定、解決、発信しようとする。
- ・多様な他者とコミュニケーションをとりながら、協働的に学ぼうとする。

##### 自律

- ・自ら考え、判断し、行動する。
- ・学びを調整しながら、主体的に学習に取り組もうとする。
- ・試行錯誤しながら、たとえ失敗しても、粘り強く挑戦し続ける。

##### 自他の尊重

- ・自分のよさを発揮しながら、自分らしく、自信をもって学ぶ。
- ・多様な価値を認め、他者を価値ある存在として尊重しながら、共に高め合う。

#### 探究的な学びの 継続的推進

- ・9年間のねらいや系統性を共有
- ・自ら課題を発見し、解決に取り組み、まとめ、表現し、新たな課題を見つける学びを推進し、生きる力を継続的に育む。

#### 豊かな心を育む 教育の充実

- ・9年間の児童生徒の多様なつながり
- ・多様な価値を認め合い、尊重し合う。
- ・友と粘り強く挑戦する。

9年間の学び  
をつなげる

子どもの育ち  
をつなげる

小中の教職員  
をつなげる

学校・家庭・地域  
をつなげる

#### 創意ある教育活動

- ・互いの教育内容、教育方法などを相互に理解し、協働的に実践することによる教員の指導力向上
- ・教科担任制による専門性を活かした探究的な授業実践

#### 「ふるさとへの誇り」の育成

- ・より地域が一体となったコミュニティスクールの推進
- ・ふるさと学習の充実

## おわりに

小中学校における学校環境は、多感な発達段階にある子ども達にとって、大きな影響を与える場の一つであり、多様な考えを持った他者とふれあいながら人間関係を築き、集団を通して切磋琢磨できる環境を構築するためには、一定の集団規模の確保が必要である。

しかしながら、本市においては、急速な少子化が進展し、令和元年6月に策定した現計画における八郷中学校地区の8つの小学校の将来児童予測が令和12年度で607名だったのに対し、最新の推計では480名となっており、柿岡小学校及び林小学校以外の6校で複式学級の学年が生じる可能性がある。

このような状況を踏まえ、まず、複式学級の解消を行い、その後適正規模化する方針を示した現在の計画を改め、可能な限り早期に8校統合を目指すことは喫緊の課題である。

昨年度に開催した地域住民の方を対象とした住民懇談会でも、統合を求める声は多く、統合の時期についても早期の統合を求める声は多い状況であった。さらに、今年度で開催した8校のPTA代表者を対象とした意見交換会においても8校統合に関する賛同の声が多く寄せられた。

一方で、通学バスや統合後になじめない子ども達への支援体制などへの不安の声もあり、これらの不安を解消できるよう取組を進めていく必要がある。加えて、保護者や地域住民との合意形成と跡地利活用についても重要な事項であることからこれらを統合において配慮すべき事項として記した。

今回は八郷中学校地区の小学校統合について審議を行ったが、今後も統合再編に係る学校は残っており、必要に応じて審議していく必要があるものとする。

今後の人口減少社会において、財源が限られてくる中でも、統合再編を進めることにより、一定の集団規模の確保や教員配置の充実、新しい時代の学びに対応できる学校施設の整備が可能となる。それによって本市の教育目標である「ふるさとに学び夢にはばたく 輝くひとづくりのまち」が実現し、一人ひとりが持続可能な地域社会の創り手となれるよう、夢と期待を込めて答申とする。

## 石岡市小中学校統合計画審議会審議経過

開催状況	会議等内容
第1回 令和5年9月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会長・副会長の選出について</li> <li>・ 統合再編計画の策定に関する諮問について</li> <li>・ 現状と今後のスケジュールについて</li> </ul>
第2回 令和6年5月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 副会長の選任について</li> <li>・ 八郷中学校地区の現状について</li> <li>・ 住民懇談会開催結果について</li> <li>・ 統合に関する費用について</li> <li>・ 石岡市の小中一貫教育推進について</li> <li>・ 検討体制・今後のスケジュールについて</li> </ul>
第3回 令和6年7月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 八郷中学校地区の小中学校統合再編に関するPTA意見交換会の開催結果について</li> <li>・ 答申案について</li> </ul>

## 石岡市小中学校統合計画審議会委員

令和6年7月現在

	区分	役職	氏名	備考
1	学識経験者	会長	岡崎 尚俊	
2	青少年関係団体の代表	副会長	松金 美土里	
3	市議会の議員		関口 忠男	
4	市議会の議員		村上 泰道	
5	市議会の議員		岡野 孝男	
6	市議会の議員		玉造 由美	
7	自治会等の代表		倉田 雅博	
8	自治会等の代表		野口 実	
9	PTA連絡協議会の代表		小松 友行	
10	PTA連絡協議会の代表		前沢 純平	
11	PTA連絡協議会の代表		清水 雅宏	
12	PTA連絡協議会の代表		内田 大輔	
13	PTA連絡協議会の代表		市村 尚之	
14	校長会の代表		原部 浩樹	
15	校長会の代表		戸江 直美	
16	校長会の代表		高栖 弘明	
17	幼稚園の代表		古谷野 光紀	
18	保育所の代表		青木 亜優	
19	青少年関係団体の代表		久保田 孝	
20	学識経験者		村上 朝雄	

※令和5年度委員

区分	氏名	備考
PTA連絡協議会の代表	菊田 雅明	
PTA連絡協議会の代表	佐藤 博文	
PTA連絡協議会の代表	倉田 光男	
PTA連絡協議会の代表	高野 勝俊	
PTA連絡協議会の代表	長谷川 孝夫	
PTA連絡協議会の代表	木村 直文	
校長会の代表	山口 裕司	